

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果ダイジェスト

評価結果ダイジェスト



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評

▼サービス分析結果

▼利用者調査結果

▼事業者のコメント

平成19年度

知的障害者入所更生施設[経過措置]

事業所名称	品川区立かがやき園
評価機関名称	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク
評価者	修了者No.H0405022 修了者No.H0303002 修了者No.H0401019
評価実施期間	2007年6月26日～2007年10月13日

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- ・ 年度事業計画の策定と進捗管理
- ・ 利用者のプライバシーに配慮した支援
- ・ 利用者の地域生活移行への意欲的取り組み

📈さらなる改善が望まれる点

- ・ 職員の指導ニーズを踏まえた育成計画の策定
- ・ サービス情報開示への取り組み
- ・ 利用者が地域との関わりをさらに多く持てる活動の取り組み

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画をいかしながら、利用者に合った自立(自律)生活を送るための支援を行っている	B
【講評】 詳細はこちら ・ 利用者の地域生活への移行を目的とした施設として、自立に必要な生活支援・作業支援を... ・ 利用者とのコミュニケーションには、ジェスチャー・絵カード・マーク等視覚的表現を中... ・ 地域移行生活の実現が早期に見込まれる利用者については、地域移行のための支援計画・...	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら ・ 日中活動計画・プログラムは日中活動会議で作成されている。施設では、個別の日中活動... ・ 日中活動週間プログラムは、公園清掃・館内清掃・タオルたたみ作業・散歩・創作・室内... ・ 施設では個別活動だけでなく、利用者をグループに分けた外出活動(喫茶店の利用者・飲...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら ・ 給食は法人本部の栄養課が総合的に担当し、毎月の給食会議で献立・嗜好調査・行事食等... ・ 食事の支援は、利用者30名に対して職員4名で対応ができ、見守り・声かけで自食を促... ・ 食堂は明るく清潔で、消毒、手洗いも励行されている。テーブルには利用者名と食器具が...	
4. 利用者一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら ・ 利用者の居室は、個室・2人・4人部屋で構成されているが、全体的に広く・明るく・清... ・ 洗濯・掃除・買い物・調理等の支援は、見守り・声かけ・フォローを基本とし、過度の干...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら ・ 定期健康診断の結果は、嘱託医が目を通し、看護師を通じて診断結果の所見・必要な処置...	

- ・通院が必要な場合には、看護師が支援員が同行し、必要に応じて家庭に連絡するとともに...
- ・利用者の機能回復訓練については、個別の対応となっている。以前利用していた施設から...

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・行事は、法人の祭り・施設の祭り（作品展示等）、一泊旅行・日帰り旅行・納涼会・クリ...
- ・利用者集会を毎月開催し、月間予定・行事等について説明している。また、利用者の意見...
- ・当施設は平成16年5月に開設されており、新しい建物である。居室・作業室・食堂・ト...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・週末には、家庭に帰宅（外泊）する利用者や家族と外出・外食する利用者が多くなっ...
- ・広報誌「きらり」（施設での生活・行事・旅行等の報告記事を掲載）を年3回発行してい...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・当施設の利用者は、地域生活移行を前提に入所しており、当面の移行対象者について詳細...
- ・利用者は、地域の福祉祭り・障害者週間記念イベント・商店街の納涼祭等に参加して、地...
- ・利用者の生活状況の把握・グループホーム等との情報交換等、移行後のフォロープログラ...

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちら](#)

※読み上げソフトをご利用のかたへ
パーセンテージの読みあがけは「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「無回答」の順番で読み上げられます。

有効回答者数/利用者総数
9/30

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 食事の時間は楽しんでいるか	88.0%	11.0%	いいえ: 0.0%	無回答・非該当: 0.0%
2. 日常生活には自由があるか	77.0%	22.0%	どちらともいえない: 0.0%	無回答・非該当: 0.0%
3. 活動は楽しいか	100.0%		どちらともいえない: 0.0%	いいえ: 0.0%
4. 利用者は必要なときに支援を受けているか	66.0%	22.0%	11.0%	無回答・非該当: 0.0%
5. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	88.0%	11.0%	いいえ: 0.0%	無回答・非該当: 0.0%
6. 利用者の気持ちは尊重されているか	77.0%	22.0%	いいえ: 0.0%	無回答・非該当: 0.0%
7. 職員の対応は丁寧か	77.0%	11.0%	11.0%	無回答・非該当: 0.0%
8. 個別の目標や計画を作成する際に、利用者の状況や要望を聞かれているか	77.0%	11.0%	11.0%	無回答・非該当: 0.0%
9. 【個別の目標や計画について説明を受けた方に】 個別の目標や計画に関しての説明はわかりやすかったか	66.0%	33.0%	いいえ: 0.0%	無回答・非該当: 0.0%
10. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	はい: 0.0%	どちらともいえない: 0.0%	いいえ: 0.0%	無回答・非該当: 0.0%
11. 不満や要望を事業所（施設）に言いやすいか	77.0%	11.0%	11.0%	無回答・非該当: 0.0%
12. 利用者の不満や要望はきちんと対応されているか	100.0%		どちらともいえない: 0.0%	いいえ: 0.0%
13. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	33.0%	11.0%	55.0%	無回答・非該当: 0.0%

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の結果

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 全体の評価講評

全体の評価講評

▼全体の評価講評 ▼コメント

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

平成19年度

知的障害者入所更生施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	品川区立かがやき園
評価機関名称	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク
評価者	修了者No.H0405022 修了者No.H0303002 修了者No.H0401019
評価実施期間	2007年6月26日～2007年10月13日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

●年度事業計画の策定と進捗管理

年度毎の事業計画は事業計画書に明示され、職員はじめ、利用者等の関係者に周知が図られている。計画の進捗状況については、事業所毎に重点テーマ、支出計画のポイント、利用率目標等の項目毎に毎月の法人経営会議、施設長会議で検証と予測が行われ、計画の着実な推進と目標の達成が図られている。

●利用者のプライバシーに配慮した支援

利用者の情報については、毎年度初めに「広報紙等への利用者の氏名・写真の掲載・掲示について」という文書を配付し、施設内の広報紙・園生活のしおり・施設内の氏名及び写真・下駄箱の氏名に関してそれぞれ同意の有無を確認しており、個人情報保護に関する意識の高さがうかがえる。また、郵便物の取り扱いについては家族の意向を聞き取り、対応している。利用者の居室は、個室と2人・4人部屋があり、カーテン・間仕切り家具等でプライバシーの確保に努めている。その他、同性介助の徹底を図るため、職員配置等を配慮している。

●利用者の地域生活移行への意欲的取り組み

地域生活移行を希望する利用者（潜在的希望者を含む）が地域生活移行を実現できるよう、通常の支援計画とは別個の移行支援プログラムを策定・実施し、成果を上げている。園は移行に向けての課題・支援目標を明らかにするための詳細なアセスメントを行い、アセスメントの結果を踏まえた支援計画を利用者・家族と相談しながら、行政・関係施設と協議・検討を行い、策定している。また、実施に当たっては、利用者に地域生活のイメージ、実習計画等をわかりやすく説明し同意を得て支援を行い地域生活移行を実現させている。

▼さらなる改善が望まれる点

●職員の指導ニーズを踏まえた育成計画の策定

職員の能力向上に関し、法人内外の研修受講等が制度的に実施され、事業所においても新たな利用者支援策の開始に伴う実践的な職員の能力開発に取り組む等、経営層の意識の高さが窺われるが、研修受講後の成果の継続的なチェックとフォロー体制、職員のセルフチェックの結果や人事面談で把握された指導ニーズを活用して、職員個人毎の研修計画の策定やOJTの実施に結び付けて行く体制の構築が喫緊の課題となっている。

●サービス情報開示への取り組み

当施設は地域生活移行を目標とした入所施設であり、地域移行を目指した利用者への支援を行っている。そのため、施設のあり方や支援内容等を具体的に広く周知することで地域への理解と受容を求めているよう、さらに積極的に情報提供していく必要があると思われる。また、ホームページは法人管理となっているが、事業所別で更新できるよう改善されることを期待したい。

●利用者が地域との関わりをさらに多く持てる活動の取り組み

利用者は施設外で多様な日中活動・レクリエーション活動を行っている。利用者の地域生活移行を進めている施設として利用者が地域と関わる接点を多く持つ活動は、利用者の社会参加スキルの向上と地域との連携、理解・協力につながるものと思われる。リサイクル資源回収活動・清掃活動・自主生産品の作成・販売活動・地域での買い物を通じての金銭管理の訓練・自主的にボランティア活動ができる社会参加訓練等地域との接点を多くする取り組みが求められる。

[このページの一番上へ](#)

コメント

職員には職員説明会を開催して第三者評価の趣旨と自己評価手法について直接説明して理解を深めた。利用者調査は施設側に個室を用意してもらい聞き取りを実施した。報告会では独自のフィードバックレポートを作成して職員と利用者にて報告会を実施した。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 組織マネジメント分析結果

組織マネジメント分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼リーダーシップと意思決定 ▼経営における社会的責任 ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
▼計画の策定と着実な実行 ▼職員と組織の能力向上 ▼情報の保護・共有 ▼カテゴリー1～7に関する活動成果

平成19年度	知的障害者入所更生施設[経過措置]
＜前の評価結果を見る	次の評価結果を見る＞
事業所名称	品川区立かがやき園
評価機関名称	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク
事業評価実施期間	2007年7月14日～2007年10月13日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
【講評】詳細はこちら	評点の内容 ▶ 詳細はこちら
- 事業所の理念、基本方針は明確化されており、事業計画書に明示され、職員には年度初め... - 経営層の役割と責任については組織図、事業計画書に記載の会議計画、業務予定表等によ...	

このページの一番上へ

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	B
3. 地域の関係機関との連携を図っている	A
【講評】詳細はこちら	評点の内容 ▶ 詳細はこちら
- 法令遵守、人権擁護等の福祉サービス従事者として求められるコンプライアンスに関して... - 地域との交流に関しては、その重要性に鑑みて事業計画書に重要な方針として明示され、...	

このページの一番上へ

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】詳細はこちら	評点の内容 ▶ 詳細はこちら
- 苦情解決制度については、重要事項説明書に記載する他、第三者委員の氏名、連絡先を明... - 利用者意向の把握については、言葉以外のコミュニケーションを含め、日常的に把握に努...	

このページの一番上へ

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
------------------------	----

1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	B
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 単年度の事業計画及び短期の活動計画については、指定管理者制度のガイドライン、モニ... ● 利用者の安全の確保・向上に向けては、関係機関との連携や事業所内の役割分担の事業計...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	B
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 職員のモチベーションやモラルの向上に関する取り組みについては、職員の指導ニーズ... ● 職員の能力向上に関しては、職制毎に法人全体の研修計画が策定されている。法人内外の...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	A
【講評】 詳細はこちら ● 事業所が保有する情報の保護・管理に関しては、情報の重要性や機密性を踏まえ、電磁的... ● 個人情報の保護、管理に関しては、法人全体で制定された規程を事業所内に掲示して内外...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら ● 利用者の地域生活移行を目的とする施設として、その社会的責任を果たすため、入所利用...	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	B
【改善の成果】 詳細はこちら ● 職員の能力向上に関しては、法人内外の研修受講等が制度的に実施され、事業所において...	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	B
【改善の成果】 詳細はこちら ● 事業所が保有する情報の保護・管理に関しては、電磁的情報については、情報の重要性や...	
4. 事業所の財政等において向上している	評点
1. 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら ● 事業環境が極めて厳しい中、日額報酬に応じた施設利用率向上や節電、節水等の光熱水費...	

5. 前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している	B
【改善の成果】 詳細はこちら 利用者の地域生活移行を推進に向けては、地域との交流、品川区障害者支援施設連絡会は...	
	評点の内容 ▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)
財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > サービス分析結果

サービス分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成19年度

知的障害者入所更生施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	品川区立かがやき園
評価機関名称	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク
事業評価実施期間	2007年7月14日～2007年10月13日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
【講評】 詳細はこちら - 施設の情報は、パンフレット及び法人で作成している広報誌「もみじ」を区役所や関係機... - 当施設は地域生活移行を目標とした入所施設であり、地域移行を目指した利用者への支援... 「生活のしおり」及びその他配布物・献立等、利用者に関係する文書にはルビを振る他、...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - サービス開始時には、契約書及び重要事項説明書・「園生活のしおり」等を使用して、施... - 利用者が養護学校及び他の施設からの移行の場合は、利用前の施設へ訪問し利用者の情報... - 当施設は地域生活移行を目標としており、施設開設以来、自宅及びグループホーム等へ地...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
個別状況に応じた計画策定・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
【講評】 詳細はこちら - 当施設は、支援ソフトを導入しており、利用者に関する記録はパソコンに入力している。... - 個別支援計画は、暫定で作成した計画を年度当初に行う個別面談時に利用者及び家族に提... - 当施設では、利用者の支援計画から重点目標を抜粋し、1ヶ月毎に支援内容について会議...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の情報については、毎年度初めに「広報誌等への利用者の氏名・写真の掲載・掲示... - 日常の支援では、場面毎に利用者の意向を確認しており、必要に応じて個別のプログラム... - 今年度の基本テーマを「利用者主体の福祉サービスを提供する」と定め、それに伴う職員...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
【講評】 詳細はこちら - 現在、職員の日常業務の手順書となる「業務マニュアル」と衛生面や緊急時対応について... - 利用者へのサービス提供内容を振り返る機会として、事業報告書及び事業計画書・施設支... - 利用者への支援方法や手順等については、朝・終礼時や職員会議等、職員が一同に会する...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画をいかながら、利用者に合った自立（自律）生活を送るための支援を行っている	B
【講評】 詳細はこちら - 利用者の地域生活への移行を目的とした施設として、自立に必要な生活支援・作業支援を... - 利用者とのコミュニケーションには、ジェスチャー・絵カード・マーク等視覚的表現を中... - 地域移行生活の実現が早期に見込まれる利用者については、地域移行のための支援計画・...	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 日中活動計画・プログラムは日中活動会議で作成されている。施設では、個別の日中活動... - 日中活動週間プログラムは、公園清掃・館内清掃・タオルたたみ作業・散歩・創作・室内... - 施設では個別活動だけでなく、利用者をグループに分けた外出活動（喫茶店の利用者・飲...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら - 給食は法人本部の栄養課が総合的に担当し、毎月の給食会議で献立・嗜好調査・行事食等... - 食事の支援は、利用者30名に対して職員4名で対応ができ、見守り・声かけで自食を促... - 食堂は明るく清潔で、消毒、手洗いも励行されている。テーブルには利用者名と食器具が...	
4. 利用者一人ひとりの状況に応じて生活上で必要な支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の居室は、個室・2人・4人部屋で構成されているが、全体的に広く・明るく・清... - 洗濯・掃除・買い物・調理等の支援は、見守り・声かけ・フォローを基本とし、過度の干...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 定期健康診断の結果は、嘱託医が目を通し、看護師を通じて診断結果の所見・必要な処置... - 通院が必要な場合には、看護師か支援員が同行し、必要に応じて家庭に連絡するとともに... - 利用者の機能回復訓練については、個別の対応となっている。以前利用していた施設から...	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 行事は、法人の祭り・施設の祭り（作品展示等）、一泊旅行・日帰り旅行・納涼会・クリ... - 利用者集会を毎月開催し、月間予定・行事等について説明している。また、利用者の意見... - 当施設は平成16年5月に開設されており、新しい建物である。居室・作業室・食堂・ト...	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら - 週末には、家庭に帰宅（外泊）する利用者や家族と外出・外食する利用者が多くなってお... - 広報誌「きらり」（施設での生活・行事・旅行等の報告記事を掲載）を年3回発行してい...	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 当施設の利用者は、地域生活移行を前提に入所しており、当面の移行対象者について詳細... - 利用者は、地域の福祉祭り・障害者週間記念イベント・商店街の納涼祭等に参加して、地... - 利用者の生活状況の把握・グループホーム等との情報交換等、移行後のフォロープログラ...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 利用者調査結果

利用者調査結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成19年度

知的障害者入所更生施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	品川区立かがやき園
評価機関名称	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク
利用者調査実施期間	2007年7月14日～2007年8月15日

調査概要

● 調査対象:

現在利用している全利用者のうち意思疎通が可能な利用者

● 調査方法:

聞き取り方式
日中の時間帯に作業所とは別の場所に部屋を用意してもらい聞き取り調査を実施した。

●

利用者総数: 30人

●

共通評価項目による調査対象者数: 10人

●

共通評価項目による調査の有効回答者数: 9人

●

利用者総数に対する回答者割合(%) : 30.0%

●

調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

聞き取り調査の数値からは、全体的に肯定的な回答となっている。特に、施設での活動や日常の過ごし方、プライバシーへの配慮に満足している様子が見受けられる。職員の接し方や言葉使いは十分であると感じている利用者が多く、特に要望や不満についての対応に高い満足を示している。しかし、多くの利用者が、困ったことや苦情を外の機関に相談できるということを知らないと答えている。自由意見では自立をしたいや外に出かけたいなどの声が聞かれた。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

1. 食事の時間は楽しみになっているか

はい	8人	どちらともいえない	1人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
ほとんどの利用者が「はい」と回答している。「食事は3食ともおいしく、楽しい」という声が聞かれた。

2. 日常生活には自由度があるか

はい	7人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
多くの利用者が「はい」と回答している。「テレビなどをよく観ている」という声がある一方で、「忙しくて好きなことをする時間が少ない」という声もあった。

3. 活動は楽しいか

はい	9人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
利用者全員が「はい」と回答している。「他施設へ作業に行ったり、クラブ活動が楽しい」「室内外で楽しく過ごしている」という声が聞かれた。

4. 利用者は必要なときに支援を受けているか

はい	6人	どちらともいえない	2人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
半数以上の利用者が「はい」と回答しており、利用者が求めている場面で支援が行われていることがうかがえた。

5. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか

はい	8人	どちらともいえない	1人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
ほとんどの利用者が「はい」と回答しており、利用者のプライバシーへの配慮は十分であることがうかがえた。

6. 利用者の気持ちは尊重されているか

はい	7人	どちらともいえない	2人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
多くの利用者が「はい」と回答しており、利用者の意向や気持ちに対して、配慮がなされていると判断した。

7. 職員の対応は丁寧か

はい	7人	どちらともいえない	1人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
多くの利用者が「はい」と回答しているが、「職員によって対応が異なる」「自分はされないが、他の利用者はよく注意されている」という意見が聞かれた。

8. 個別の目標や計画を作成する際に、利用者の状況や要望を聞かれているか

はい	7人	どちらともいえない	1人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
多くの利用者が「はい」と回答しており、計画作成時の利用者に対する意向や状況確認がなされていると判断した。

9. 【個別の目標や計画について説明を受けた方に】 個別の目標や計画に関しての説明はわかりやすかったか

はい	4人	どちらともいえない	2人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
該当する利用者の多くが「はい」と回答している。説明が十分であったことがうかがえた。

10. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

11. 不満や要望を事業所（施設）に言いやすいか

はい	7人	どちらともいえない	1人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
半数の利用者が「はい」と回答しているが、「遠慮してしまう」「言っても仕方ないと思う」という声も聞かれた。

12. 利用者の不満や要望はきちんと対応されているか

はい	9人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
利用者全員が「はい」と回答している。利用者の不満や要望など、職員の対応がしっかりと取られている状況がうかがえた。

13. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか

はい	3人	どちらともいえない	1人	いいえ	5人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
半数以上の利用者が「いいえ」と回答しており、苦情を外部に相談できることがあまり知られていない状況であると判断した。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)
[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > リーダーシップと意思決定

 リーダーシップと意思決定

 利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

事業所の理念、基本方針は明確化されており、事業計画書に明示され、職員には年度初めの職員会議で、また、利用者及びその家族には、利用者集会、保護者会議で説明されて周知が図られると共に、事業所内に掲示されて日常的に職員、利用者は素より保護者、ボランティア、その他来訪者に至るまで、確認できる取り組みがされている。

経営層の役割と責任については組織図、事業計画書に記載の会議計画、業務予定表等によって明示にされ、理事会、経営会議、施設長会議等の法人全体の会議をはじめ、事業所の職員会議、保護者会等の機能も明確で、重要な案件の検討、決定の手順や決定事項の職員及び利用者、家族への周知に遺漏無きを期した取り組みが行われている。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	A
標準項目	 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A
標準項目	 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A
標準項目	 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 経営における社会的責任



経営における社会的責任



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

法令遵守、人権擁護等の福祉サービス従事者として求められるコンプライアンスに関しては、職員の活動指針として、事業計画書に「より良い福米会(福祉施設)職員を目指して」と題して掲載して明示し、職員会議やミーティングにおいて、日常的に職員等の啓蒙に努めている。また、事業所の特性として、区営住宅との複合施設となっていることから、社会的責任の一環として組織の透明性の確保にも努め、第三者評価の受審結果等の情報を自治会に開示している。

地域との交流に関しては、その重要性に鑑みて事業計画書に重要な方針として明示され、施設紹介展の開催、地域養護学校進路説明会への職員派遣や利用者による地域公園の清掃等を通じた社会貢献活動を積極的に推進している。一方で、区の障害者支援施設連絡会を初めとする地域関係機関との連携を図っているが、ボランティアの受け入れと活用、地域ネットワークの構築については、今後検討が必要と思われる。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	○ 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している ○ 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A
標準項目	○ 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる ○ 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A
標準項目	○ 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) ○ 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	B
標準項目	○ ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している ○ ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) × ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み	

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A
標準項目	○ 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している ○ 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

苦情解決制度については、重要事項説明書に記載する他、第三者委員の氏名、連絡先を明記した広報誌「生活のしおり」を配布して利用者、保護者に制度利用の周知を図っている。また、事業所内に掲示して利用者、保護者、職員への徹底を図ると共に、ケース会議、職員会議等の検討を通じ対応する仕組みができている。

利用者意向の把握については、言葉以外のコミュニケーションを含め、日常的に把握に努める他、毎月開催の利用者集会や年4回開催の保護者会、随時の個別面談等で制度的な取り組みを実施し、区提供のセルフチェックシートや利用者意見を記載した行事報告書等で自己評価を行い、利用者意向を提供サービスの向上につなげる取り組みを着実に実施している。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A
標準項目	○ 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
	○ 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
	○ 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
	○ 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A
標準項目	○ 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
	○ 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
	○ 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)
財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 計画の策定と着実な実行



計画の策定と着実な実行



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

単年度の事業計画及び短期の活動計画については、指定管理者制度のガイドライン、モニタリングに則り、事業環境や地域の福祉ニーズを踏まえ策定されていて明確である。また、策定に当たっては、職員の意向調査を実施して、利用者意向と共に、現場の意向の把握と反映にも努め、事業所が一丸となって計画遂行に取り組む仕組みができていますが、中長期計画については、今後の取り組みが待たれる状況である。

利用者の安全の確保・向上に向けては、関係機関との連携や事業所内の役割分担の事業計画書への明示、マニュアルの配置等の取り組みがされており、また、事故事例については、法人本部への報告、対応策の検討、迅速な措置の実施が制度的に機能しており、当該事例の法人広報紙「もみじ」への記載とその配布により、職員・利用者・保護者への情報の共有化及び再発防止意識の醸成が図られている。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	B	
標準項目	✕	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	○	年度単位の計画を策定している
	○	短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み		

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A	
標準項目	○	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	○	課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	○	計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
	○	計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している
A+の取り組み		

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	○	計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	○	計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
	○	計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	○	計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み		

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	○	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
	○	発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	○	再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 職員と組織の能力向上



職員と組織の能力向上



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

職員のモチベーションやモラルの向上に関する取り組みについては、職員の指導ニーズや人事上の希望把握の機会である職員面談を、今年度から従来の1回から2回として、より充実した取り組みを行っている。また、事業所が必要とする人材の採用については法人理事長の率先によって行われ、適正な人材構成に努めると共に、幹部職員を除いた理事長と職員との懇談会開催等の取り組みが進められている。

職員の能力向上に関しては、職制毎に法人全体の研修計画が策定されている。法人内外の研修受講、資格取得等が奨励され、実施されているが、研修受講後の成果の継続的なフォロー体制、及び職員のセルフチェックシートや人事面談で把握された指導ニーズに基づいた職員個人毎の研修計画の策定やOJTの実施体制の構築が喫緊の課題となっている状況である。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	A
標準項目	☐ 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	☐ 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
	☐ 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	B
標準項目	☐ 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	☒ 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
	☒ 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている
	☐ 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
	☐ 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
	☐ 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
	☐ 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	☐ 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	☐ 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	☐ 福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 情報の保護・共有



情報の保護・共有



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

事業所が保有する情報の保護・管理に関しては、情報の重要性や機密性を踏まえ、電磁的媒体にはアクセス権限が設定されパスワードで管理されている。紙媒体による情報についてはキャビネット等に適切に保管されると共に、職員の業務遂行上の必要な情報については、法人内、事業所内の定めに従ったの伝達手段により、適宜、的確な伝達及び共有化が図られている。

個人情報の保護、管理に関しては、法人全体で制定された規程を事業所内に掲示して内外にその姿勢を明示している。また、事業所内における利用者名、職員名の表示や写真の掲示、広報誌への掲載等についても毎年度同意書を取り付けるなどの取り組みを行っている。さらに、職員会議等においてその取り組みの徹底が図られている。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	☒	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している
	☒	収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
	☒	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み		

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点	A	
標準項目	☒	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	☒	個人情報の保護に関する規定を明示している
	☒	開示請求に対する対応方法を明示している
	☒	個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > カテゴリー1～7に関する活動成果



カテゴリー1～7に関する活動成果



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A
改善の成果	利用者の地域生活移行を目的とする施設として、その社会的責任を果たすため、入所利用者のアセスメントの結果から得られた6名の地域移行候補者に対し、個別支援計画を発展させた地域体験型支援プログラムを行政や関係機関の協力を得て実施した。18年度中には3名の利用者の退所、グループホーム移行が実現した。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	B
改善の成果	職員の能力向上に関しては、法人内外の研修受講等が制度的に実施され、事業所においても利用者の特性に沿ったグルーピングに伴う新たな支援体制の開始等実践的な職員の能力開発に取り組んでいる。一方で、研修受講後の成果の継続的なフォロー体制や職員のセルフチェックシートや人事面談で把握された指導ニーズに基づいた職員個人毎の研修計画の策定やOJTの実施体制の構築が喫緊の課題となっている状況である。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	B
改善の成果	事業所が保有する情報の保護・管理に関しては、電磁的情報については、情報の重要性や機密性を踏まえたアクセス権限が設定されてパスワードで管理される。また、職員の業務遂行上の必要な情報については、制度的な取り組みが実施され、適宜、的確な伝達がされ、共有化も図られているが、紙媒体の情報の更新、管理に改善の必要性があると思われる。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

評点	A
改善の成果	事業環境が極めて厳しい中、日額報酬に応じた施設利用率向上や節電、節水等の光熱水費削減に積極的に取り組み、前年に続き、財務的には安定した状況を維持している。

[このページの一番上へ](#)

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

- ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

評点	B
改善の成果	利用者の地域生活移行を推進に向けては、地域との交流、品川区障害者支援施設連絡会ははじめとする地域関係機関との連携を図っているが、利用者の社会参加、ボランティアの受け入れと活用、地域ネットワークの構築等に一層の取り組みが待たれる状況である。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービス情報の提供



サービス情報の提供

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

施設の情報は、パンフレット及び法人で作成している広報誌「もみじ」を区役所や関係機関等に配布し周知している他、法人管理のホームページで周知している。また、入所している利用者及び家族へは、毎年度当初に「園生活のしおり(事業計画をわかりやすく噛み砕いたもの)」と年3回の発行で、行事や日中活動の様子、時事通信的な内容の施設の広報誌「きらり」を配付している。そこには、掲載されている利用者の氏名や写真は予め許可を得ているとの一筆を表紙の下部に記載しており、個人情報保護を配慮していることがうかがえる。

当施設は地域生活移行を目標とした入所施設であり、地域移行を目指した利用者への支援を行っている。そのため、施設のあり方や支援内容等を具体的に広く周知することで地域への理解と受容を求めているよう、さらに積極的に情報提供していく必要があると思われる。また、ホームページは法人管理となっているが、事業所別で更新できるよう改善されることを期待したい。

「生活のしおり」及びその他配布物・献立等、利用者に関係する文書にはルビを振る他、イラスト・写真を盛り込む等、わかりやすいよう配慮している。また、日中活動の予定を記したホワイトボードには、利用者と職員の顔写真を活動内容に振り分けることで、利用者がどこの活動で担当職員は誰なのかを理解できるようにしている。問い合わせや見学については、役職者が対応している。見学は、時間設定は特にしておらず、常識の範囲内であれば、適宜対応している。見学は、個別と学校や関係機関等団体の場合があり、見学の目的により随時対応している。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	○ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	○ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○ 利用者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)
財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始・終了時の対応

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

サービス開始時には、契約書及び重要事項説明書・「園生活のしおり」等を使用して、施設生活での流れや留意点及び利用者負担金について、説明しながら個々に金額を提示し、同意書に署名捺印をもらっている。説明の際に、利用者の支援に必要な情報や利用者・家族からの意向及び要望を聞き取り、インテークの面談記録とアセスメントシートに記載している。

利用者が養護学校及び他の施設からの移行の場合は、利用前の施設へ訪問し利用者の情報を得ている。また、養護学校の場合は、アフターケアとして当施設へ担当教員が来園し、情報交換を行う等、連携を取っている。当施設の職員は、利用者が以前の生活リズムを崩さず生活できるよう、入手した情報を下に対応している。その他、個別の関わりが必要な利用者には、個別対応する等、利用者が施設生活に慣れるまでの最初の対応に配慮している。

当施設は地域生活移行を目標としており、施設開設以来、自宅及びグループホーム等へ地域生活移行した利用者は11名になる。自宅の場合は家族へ、グループホームの場合は、その担当職員へ申し送りを行った。移行直後の連携は行っているが、その後の継続した支援については、徹底されていない状況があったため、今年度より移行後6ヶ月と期限を決めて移行先を訪問する等、アフターケアを行う計画を立てている。今後は体制を整備して行くことが望まれる。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 個別状況に応じた計画策定・記録



個別状況に応じた計画策定・記録



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

当施設は、支援ソフトを導入しており、利用者に関する記録はパソコンに入力している。アセスメントシートは、健康・日常生活動作(ADL)・家事/社会生活・コミュニケーション・日中活動/就労余暇、等場面毎に分けており、それぞれに現状/希望/本人の状況/計画を記載し、利用者の現状とニーズ及び課題について把握している。また、アセスメントは中間期と年度末に見直しを行い、必要に応じて修正している。利用者の日々の状況は、援助記録に記載されている。ただ、記述内容については、検討が望まれる。

個別支援計画は、暫定で作成した計画を年度当初に行う個別面談時に利用者及び家族に提示し、計画への意向や要望があった場合は、それらを反映することを前提に同意書に署名捺印をもらっている。その後、完成版の計画書の確認は行っていない。家族がわざわざ足を運ぶ機会であるため、個別面談時が最終確認となるよう、予め暫定計画書を提示し修正希望等を受け入れる等、個別面談の内容を改善する必要があると思われる。個別支援計画も中間期と年度末に評価を行い見直している。緊急な変更には、担当グループで対応し施設長が決定している。

当施設では、利用者の支援計画から重点目標を抜粋し、1ヶ月毎に支援内容について会議で評価・点検を行い、翌月の支援に反映させている。また、日常の申し送りは、日勤・夜勤支援日誌をもとに朝礼と終礼に利用者に関する状況や特記事項について行っている。また、遅番等申し送り時に出席していない職員へは、連絡ノートを使って伝達している。回覧等、書類の視認は、印またはサイン等で確認を取ることが望ましい。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A	
標準項目		利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
		利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
		アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A	
標準項目		計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
		計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
		計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直している
		計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A	
標準項目		利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
		計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A	
標準項目		計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している
		申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み		

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重



プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

利用者の情報については、毎年度初めに「広報誌等への利用者の氏名・写真の掲載・掲示について」という文書を配付し、施設内の広報誌・園生活のしおり・施設内の氏名及び写真・下駄箱の氏名に関してそれぞれ同意の有無を確認しており、個人情報保護に関する意識の高さがうかがえる。また、郵便物の取り扱いについては家族の意向を聞き取り、対応している。利用者の居室は、個室と2人・4人部屋があり、カーテン・間仕切り家具等でプライバシーの確保に努めている。その他、同性介助の徹底を図るため、職員配置等を配慮している。

日常の支援では、場面毎に利用者の意向を確認しており、必要に応じて個別のプログラムの活動を変更している。また、利用者個々の価値観や生活習慣を考慮し、職員が統一した支援を行えるよう、支援のあり方を綴った「支援統一表」を作成し個別のマニュアルとして活用している。利用者の担当は、日中活動と施設入所生活に分かれているため、それぞれの担当が場面毎に留意すべき内容を記載している。

今年度の基本テーマを「利用者主体の福祉サービスを提供する」と定め、それに伴う職員活動指針を明示している。その中で利用者の人権の尊重やプライバシーの保護に努めること、また、禁止行為として暴力や差別等を掲げている。年度初めに、職員としてのあり方を確認する他、年1回区のサービス向上を目的とした自己チェックにより、自身の言動や行動について振り返る機会としている。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A
標準項目	○ 利用者に関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、利用者の同意を得るようにしている
	○ 個人の所有物や個人宛文書の取り扱い、利用者のプライベートな空間への出入り等、日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
	○ 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A
標準項目	○ 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
	○ 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	○ 虐待被害にあった利用者がある場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	○ 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

福ナビトップへ | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 事業所業務の標準化

事業所業務の標準化

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

現在、職員の日常業務の手順書となる「業務マニュアル」と衛生面や緊急時対応についてまとめた「危機管理マニュアル」があるが、それぞれ作成してから時間が経過しており、現時点における業務状況とのズレが生じている。今年度、マニュアル検討委員を置き、朝・終礼時や職員会議等で職員から出された気づきや改善案を反映させながら見直しを行っている。また、内容はQ&A形式にする等、実践的な手順書となるような構想が広がっているため、完成が待たれる。

利用者へのサービス提供内容を振り返る機会として、事業報告書及び事業計画書・施設支援計画の作成がある。事業報告書では、1年間の状況を振り返り、その反省を基に事業計画書及び施設支援計画を作成している。また、毎年職員に意向調査を実施し、支援のあり方やアイデア等を事業計画書へ活かしている。その他、終礼時に業務検討の時間を設け、必要に応じて内容を回覧し周知している。

利用者への支援方法や手順等については、朝・終礼時や職員会議等、職員が一同に会する機会に周知している。同席できなかった職員へは、資料を配布する等、情報提供を行っている。また、職員の内外の研修は必要に応じて実施・参加しており、報告書を基にフィードバックをしている。利用者の安全性への配慮をさらに意識するために、ヒヤリハットメモ等、事故には至らないが危険があったことを浮き彫りにし、未然に防ぐ対策を検討する機会が求められる。役職者が日々相談を受け、助言・指導を行っている。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	A
標準項目	 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
	 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
	 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
	 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	A
標準項目	 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
	 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
	 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
	 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
	 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
	 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの実施



サービスの実施



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

1. 個別の支援計画をいかしながら、利用者に合った自立(自律)生活を送るための支援を行っている

講評

利用者の地域生活への移行を目的とした施設として、自立に必要な生活支援・作業支援を中心に支援プログラムを編成し支援を行っている。利用者1人ひとりの支援計画に基づき、年間重点目標を設定し、さらに月別の重点目標を3ヶ月毎に見直し、支援の方法・支援の結果を終了・継続に分けて評価する支援の仕組みが構築している。日々の支援の状況は、日勤・夜勤支援日誌に記録され、申し送りにより支援が引き継がれている。

利用者とのコミュニケーションには、ジェスチャー・絵カード・マーク等視覚的表現を中心とした手段を使っている。利用者の自立生活に有用な情報は、利用者集会で全体にわかりやすく説明している他、必要に応じて個別に伝えている。いつ・どのような情報を提供したかの記録は残していないため、今後は必要と思われる。自立生活に必要なスキルの1つである対人関係については、利用者間の人間関係・興味・嗜好等で生じるさまざまな状況を捉え、指導・助言等を行っている。

地域移行生活の実現が早期に見込まれる利用者については、地域移行のための支援計画・支援プログラムを設定し、支援している。また、年金等を含めて金銭の管理は施設側で取扱規程に基づいた管理をしている。現時点での金銭管理は、小遣いによる買い物程度に留まっており、自己管理までには至っていない。今後は、利用者の能力等を考慮しながら、可能性を引き出すべく取り組まれない。

評点	B	
標準項目		個別の支援計画に基づいて支援を行っている
		利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
		自立生活に必要なさまざまな情報をわかりやすい方法で提供している
		必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
		日常の金銭管理については、自己管理できるよう支援をしている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講評

日中活動計画・プログラムは日中活動会議で作成されている。施設では、個別の日中活動プログラムを個別面談の際に明示し、利用者が希望するプログラムを週間プログラムに組み込んで全体の日中活動週間プログラムを編成している。個別の週間プログラムは3ヶ月毎に活動状況をチェックし見直しを行い、常に利用者に合った日中活動ができるよう努めている。

日中活動週間プログラムは、公園清掃・館内清掃・タオルたたみ作業・散歩・創作・室内運動(トリム体操・ダンス等)レクリエーション等で構成されている他、地域移行支援プログラムの1つとして法人内他施設との連携・協力による軽作業(箸入れ・ビーズアクセサリー作り)等、作業体験ができる活動も実施している。日曜日の午後にドライブ・散歩・お菓子作り・買い物・ビデオ鑑賞・喫茶店への外出等、利用者の意見を聞いて、利用者が楽しめる生活・活動を取り入れている。

施設では個別活動だけでなく、利用者をグループに分けた外出活動(喫茶店の利用者・飲食・スポーツ観戦・プール活動等)も実施しており、利用者の希望・1人ひとりの特性、ニーズに応じた活動場面を設定し、充実した園生活ができるよう努めている。

評点	A	
標準項目		活動メニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
		利用者が活動しやすい環境を整えている
		利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講評

給食は法人本部の栄養課が総合的に担当し、毎月の給食会議で献立・嗜好調査・行事食等についての検討した上で、利用者に合った

食事の提供に努めている。職員が毎日検食を行っている他、年1回利用者の嗜好調査・残滓調査を行い利用者が楽しめる、味付け、盛り付けに工夫を凝らしよりよい食事の提供に努めている。また、月2～3回の主菜の選択メニュー・複数メニューからの選択・行事食、歳時食等も提供されている。

食事の支援は、利用者30名に対して職員4名で対応ができ、見守り・声かけで自食を促している。利用者が職員の声かけ・指導で配膳・下膳を当番で担当し、自立生活の訓練の場ともなっている。食堂には、パン対応の利用者別マニュアルが掲示されており、細かな対応もされている。また、適温給食が提供できるように保温庫も用意されている。

食堂は明るく清潔で、消毒、手洗しも励行されている。テーブルには利用者名と食器具が絵でわかるようになっている。また、自助具の対応もされている他、利用者の状態に応じた一口大・刻み等の食形態・糖尿・肥満アレルギー・減塩等の対応もされている。

評点	A	
標準項目		利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
		利用者が選択できる食事を提供している
		利用者の状態やベースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
		食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

4. 利用者一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている

講 評

利用者の居室は、個室・2人・4人部屋で構成されているが、全体的に広く・明るく・清潔であり、廊下側の窓も利用者の希望で透明、曇りガラスの対応がされている。利用者のADL等の必要な支援内容は、利用者支援統一表にわかりやすくまとめられており、支援内容のマニュアル的活動ができ、使いやすく評価できる支援一覧表である。入浴は週4回あり、入浴しない日は足浴を行っている。また、利用者の状態により入浴できない場合は身体清拭を行っている。

洗濯・掃除・買い物・調理等の支援は、見守り・声かけ・フォローを基本とし、過度の干渉・保護的援助とならないよう心掛けている。利用者の要望によって利用者専用の洗濯機・乾燥機を新たに設置し、利用者のできること、生活の幅を広げている取り組みを行っている。ビニール手袋・洗剤等利用者自身が取り扱う物品については、在庫チェックを含め、職員が安全性を考慮しながら支援している。

評点	A	
標準項目		利用者の状態やベースに合わせて、日常生活上に必要な支援を行っている
		必要に応じて、身の回りのことは自分で行えるよう働きかけている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

定期健康診断の結果は、嘱託医が目を通し、看護師を通じて診断結果の所見・必要な処置等を家庭に通知している。また、月2回の嘱託医による診断・医療相談を実施し、利用者の健康維持に努めている。土曜・日曜日等看護師不在の場合は、看護師へのオンコール体制ができており、看護師の指示による対応をしている。緊急の場合は、協力医療機関（総合病院）への搬送等手引書による的確な対応をしている。口腔ケアについては、歯科衛生士による月2回の口腔チェック・歯磨き指導が行われている。

通院が必要な場合には、看護師か支援員が同行し、必要に応じて家庭に連絡するとともに、看護日誌に記録している。多くの利用者が起床・朝・昼・夕・就寝時に服薬している。服薬の誤りを防ぐため、色別薬ボックス・チェック表による重複チェックを行う他、職員が介助をしている。職員の意識を高めるために、例えば、標語「誤薬ゼロへ」等の運動週間を設ける等の取り組みも有効と思われる。

利用者の機能回復訓練については、個別の対応となっている。以前利用していた施設からの引継ぎにより継続したりハビリ支援を行っている他、通院している整形外科の医師より、生活上のリハビリの必要を求められた利用者には、医師の指導のもとで職員が行っている。

評点	A	
標準項目		健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
		必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
		服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
		利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

行事は、法人の祭り・施設の祭り(作品展示等)、一泊旅行・日帰り旅行・納涼会・クリスマス会等が行われている。レクリエーションは毎週金曜日の午後にカラオケ・壁新聞「一番星」の作成、手芸・スポーツ・書道等の活動がプログラムとして組まれている。書道・月間予定表・壁新聞等利用者がの作品が施設内に掲示されており、利用者の活動意欲を高めている。旅行先の選定等は、利用者が選択でき、利用者の自主性の尊重を活動基本として実践されている。

利用者集会を毎月開催し、月間予定・行事等について説明している。また、利用者の意見・要望を吸い上げる場として、利用者が発言し易い雰囲気作りに努めている。洗濯機の使用時間や居室での生活のルール等、利用者から挙げられた意見は、可能な内容であれば直ちに施設運営に反映させている。現在、利用者集会の状況は記録をとっていないため、今後は取り組まれたい。

当施設は平成16年5月に開設されており、新しい建物である。居室・作業室・食堂・トイレ・浴室・洗濯場等生活の場、活動の場も清潔で居心地よい環境である。また、開設後も清潔を保ち、利用者の使いやすさや安全性に配慮した再点検を実施し、よりよい環境の提供に努めている。

評点	A
標準項目	○ 行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
	○ 室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
	○ 日常生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にして見直しをしている
	○ 利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようしくみを整えている
	○ 行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講 評

週末には、家庭に帰宅(外泊)する利用者や家族と外出・外食する利用者が多くっており、家族との交流が深まっている。都市型の地域・家庭と密着した施設であり、相互に利用者の情報を共有できており、家族等との交流・連携は図られている。家族の面会も9時から17時まで設けられており、家庭に開放された施設である。

広報誌「きらり」(施設での生活・行事・旅行等の報告記事を掲載)を年3回発行している。また、家族と施設の連絡会を年4回開催し、事業計画・支援方針・活動報告等をわかりやすく説明し、施設への理解・協力が得られるよう努めている。その他、家族には必要に応じて福祉制度の説明、情報提供、行政手続きの代行等を行っている。家庭・利用者と施設の連携・意思疎通が円滑であることが、施設の目標である「地域生活移行」に結びついて行くことになるため、継続した取り組みを期待したい。

評点	A
標準項目	○ 家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
	○ 利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
	○ 必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講 評

当施設の利用者は、地域生活移行を前提に入所しており、当面の移行対象者について詳細なアセスメント(日常生活・健康・対人関係・日中活動・社会参加等の支援領域)を行う他、利用者の地域生活をイメージした支援計画・実習・体験等を盛り込んだ実習計画(地域生活体験型支援プログラム)を作成し、利用者・家族に説明し、同意を得て移行への支援を展開している。利用者は日中活動の場としての通所施設での実習と生活の場としてのグループホームの体験入寮とに意欲的に取り組んでいる。

利用者は、地域の福祉祭り・障害者週間記念イベント・商店街の納涼祭等に参加して、地域の中で生活していることが実感できる取り組みをしている。また、区内のスポーツ施設・公共施設を利用して多様な体験ができるよう支援している。利用者の地域生活移行を目標とする施設として、難しい課題であるが、利用者のスキルを向上させるための社会参加の場づくり(例えば清掃ボランティア活動・学校との交流等)に取り組まれることを期待したい。

利用者の生活状況の把握・グループホーム等との情報交換等、移行後のフォロープログラムを構築し実施していくことが、移行した利用者の安心・安定した生活に必要と思われる。今後、アフターケアの充実した取り組みにも期待したい。

評点	
----	--

	A	
標準項目	○	利用者が入所施設を退所して地域社会で生活できるよう計画的に支援している
	○	地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
	○	必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.